

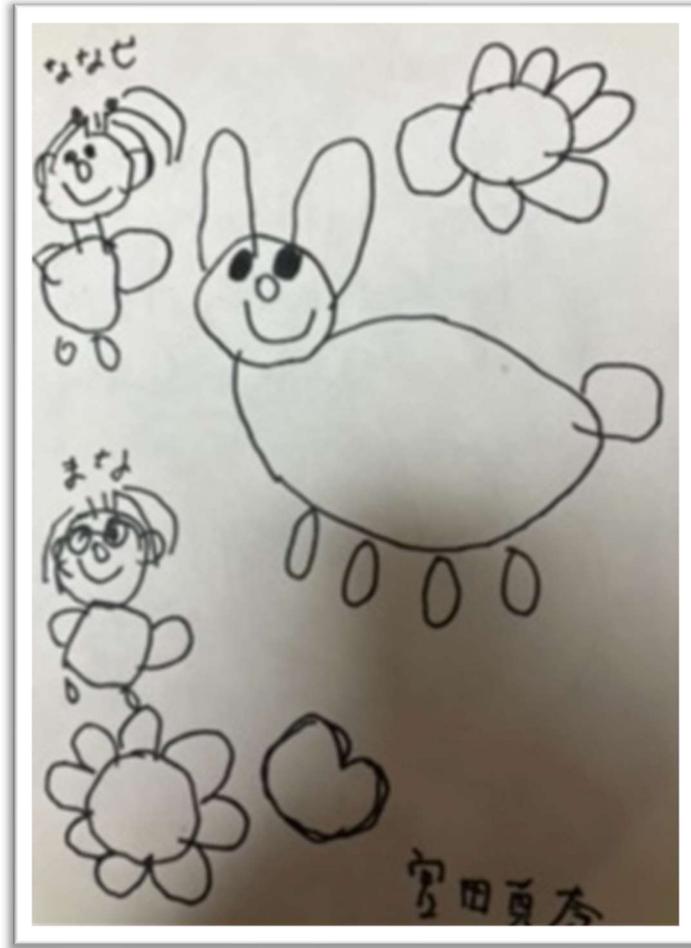
令和 5年 9月 1日

父母の会だより

豊橋市肢体不自由児(者)父母の会 第53号

〈発行責任者〉豊橋市杉山町向井 24-2 中神 達二 TEL/ 0532-23-3217

FAX/ 0532-23-4830 E-mail/rsa34375@nifty.com



宮田 真奈さんの作品

53号記事内容

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| ・「医療的ケア児支援部会」出席報告 1 | ・愛肢連定期総会 12 |
| ・令和5年度要望書 回答 2 | ・善意フェスティバル 2023 13 |
| ・令和6年度要望書 7 | ・大人のお茶会 14 |
| ・第22回豊障連大会 9 | ・令和5年あゆみ学園 Q&A 15 |
| ・さくらピアの体育館浸水 10 | ・青い鳥郵便はがき寄付のお礼 17 |
| ・定期総会記念講演の感想 11 | ・友だち紹介 18 |
| | ・今後の主な行事予定・あとがき 19 |



<https://www.fubonokai-toyohashi.com>



「医療的ケア児支援部会」出席報告

豊橋市 中神

表題の自立支援協議会に出席しましたので、その概略を報告します。

1.医療的ケア児支援センターの活動報告

*医療的ケア児支援センターは令和3年9月に医療的ケア児支援法が施行され、今までの支援体制の整備に加え、地域では対応が困難で専門性が必要な相談への対応や、看護師、介護職員等の医療的ケア児への支援を担う人材の養成などを行う事とした。実質 R4/4 月から活動開始。

⇒R4/4～5/3 月の相談件数(170 件・実人員 110 人。福祉サービス、権利擁護、通学の相談が多かった)

2.医療的ケア児等コーディネーターの配置(県内 54 市町村あり)

*コーディネーターは相談支援専門員や保健師等が医療的ケア児とその家族からさまざまな相談を受け止め、各種相談の対応を調整し、総合的に対応する。

⇒R5/4 月現在市町村合計 326 名が配置されている。(配置 54 市町村)

3.医療的ケア児と家族に対する支援ネットワーク構築事業について(R5 新規)

- ・医療的ケア児支援は市町村単位で支援体制を組むことが基本で医療的ケア児の把握が必要不可欠である。今後支援を受けられない医療的ケア児とその家族を生み出さないために、出口である医療機関との連携を強化する必要がある。いったん退院してしまうと把握できなくなる可能性があるため、退院時必ず把握することと、行政と福祉が関わる体制を作る。顔の見える関係を構築し情報入手をやすくするために、医療的ケア児にかかわる可能性のある県内医療機関 34 か所(日赤や名大病院、各市民病院等)を医療的ケア支援センターと医療的ケア児等アドバイザーで訪問し医療的ケア児把握が漏れない体制を構築する。*アドバイザー(圏域):コーディネーターや市町村への支援助言を行う

具体的には市町村毎の情報集約窓口を固定し報告してもらい、定期的に圏域の医療的ケア児支援センターに報告する。そしてリストの管理体制を整える。一方各市町村は協議の場の定例開催等情報交換を図り内容を充実させていく。

4.県内の医療的ケア児関連事業の取り組み

(各市町村でいろいろ取組んでいます、豊橋市を中心に小生の目についての内容を抜粋)

・豊橋市障害児看護支援事業

*保護者の負担を軽減する目的で看護師が配置されていない学校(義務教育)や保育園等に訪問看護師を派遣し医療的ケアを H30/4 月より実施。

⇒R4 年度実績 12 名利用(幼稚園 1 名、小学 9 名、中学 2 名)

・R4 年度からは高校にも看護支援事業拡大⇒1 名有

・豊橋市内小学校に看護師の配置⇒R4 年度 1 名(R5 年度も 1 名配置)

・豊橋市公立保育園に看護師配置⇒R4 年度 1 名配置(R5 年度は 4 名配置予定)

・豊田市家族介護者負担軽減事業(レスパイト事業)

*医療的ケア児等重心児者の介護負担軽減のための、ショートステイやレスパイト事業を実施する医療機関に個室利用の補助金を交付。

⇒R4 年度実績 4 医療機関 28 人受入 1,321 日利用(一人月平均 4 日利用)

5.県内医療的ケア児者の人数(把握 R1~5/3 月)

⇒医療的ケア児者 2,098 名(内医療的ケア児 1,016 名、医療的ケア者 1,048 名)

*児者一部市町村未把握のため合計不一致

6.災害時における医療的ケア児者の支援(把握 R1~5/3 月)

・県内市町村避難行動要支援者名簿登録(54 市町村)⇒できている・概ねできている 29 市町村(54%・前年比 10%UP)

・県内市町村個別避難計画の策定(54 市町村)⇒できている・概ねできている 16 市町村(30%・前年比 10%UP)

*R3/5 月災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者名簿登録が明記され市町村の個別避難計画が努力義務になりましたが、まだ 3 割しか個別避難計画は出来ていません。医療的ケアが必要な子供たちの個別避難計画は痰の吸引や人工呼吸器取り扱い等具体的に決めておくことがとても重要だと思います。各行政に個別避難計画の策定を積極的にお願いしていきましょう。

7.医療的ケア児通学モデル事業及び校外学習付添モデル事業について(R5 新規)

・令和 3 年 9 月に医療的ケア児支援法が施行され、国や地方自治体が医療的ケア児の支援を行う責務を負う事が初めて明文化されました。⇒学校に在籍する医療的ケア児が保護者の付添がなくても適切な医療的ケアその他の支援を受けられるようにするため、看護師等の配置その他の必要な措置を講ずるものとする。

【必要な措置として対応を求められるもの】

○通学支援(スクールバスに乗れない場合は基本保護者送迎)

○校外学習付添支援(宿泊を伴う行事は保護者付添、日帰りも状況により依頼)

***通学支援モデル事業**

・通常保護者が送迎を行っていて保護者都合により送迎が困難な場合、学校が手配した介護タクシー等に看護師が同乗し登校し、学習機会を保障すると共に保護者の負担軽減を図る。2023 年度は名古屋特支をモデル校とし、将来的に全県実施に向けた検証を行う。

***校外学習付添モデル事業**

・医師の指示により看護師の付添があれば校外学習が可能な児童生徒に対し、看護師の付添体制の構築を図る。2023 年度はひいらぎ特支をモデル校とし、将来的に全県実施に向けた検証を行う。

8.医療的ケア児者の実態把握実施方針について

・令和元年度に県として医療的ケア児者の実態調査を行ったが、医療的ケア児者は個々の状況が変わりやすいため、継続的に状況把握を行っていく必要がある。今後令和 7 年をメドに実態把握をしていく予定。

以上

*会員の皆さまからお寄せ頂いた市長、議長に対する5年度父母の会要望書に対する回答書が障害福祉課から寄せられましたので紹介します。(父母の会分)

令和5年度要望書 回答

1. 医療的ケア児者の介護者に対応するレスパイト先の確保について

・医療的ケア児者の主な介護者の平均睡眠時間は県の令和元年度の調査で平均一日5時間未満が35%という調査結果が出ており、主な介護者のお母さん方は毎日疲労困憊し過ごしています。買い物にも自由に出かけられず、自分の楽しむ時間もない日常生活が続いています。ゆっくり体を休めたいレスパイト先は必要ですが、豊橋はショートステイ先も少なくなかなかそういう所がありません。是非、介護者のレスパイト先確保のご検討をお願いします。

豊田市では「家族介護負担軽減事業」制度があり、医療型短期入所を実施した医療機関に個室利用補助金を支給しています。3年度は31人/1,175日利用実績があり、一人平均年38日(月約3日)利用しています。

【回答】 障害福祉課

医療的ケア児者の中でも、特に人工呼吸器や喀痰吸引等、常時対応が必要な医療的ケア児者の主介護者は常に睡眠時間も短く、休憩する時間もなく毎日過ごされています。主介護者が医療的ケアを実施できない状態に陥ると、即、医療的ケア児者は生活に困難を来すため、そうならないためにも介護者のレスパイトは優先度の高い課題であると感じています。

豊橋市でも、医療的ケアが必要な重症心身障害者(児)の短期入所の受け入れを行った事業所(医療機関を除く)に対して、看護師等の配置に係る費用を利用実績1日につき30,000円補助しています。

補助制度以外にも、「豊橋市自立支援協議会」の「医療的ケアに関する検討会」において、他市の状況も参考にしながら、豊橋市として実現可能な施策について協議・検討していきます。

7. 医療的ケアが必要な方への移動支援の拡充をお願いします。

・医療的ケア児者は年々増加していますが、まだまだ家族支援が殆どで、社会参加も充分できず家族が大変苦勞している状況です。

呼吸器を装着されている方や導尿が必要な方などへの外出支援は、資格のあるヘルパーでも対応が困難であり、導尿については自己導尿の補助しかヘルパーにはできないため、長時間の外出支援は家族同行が必然となり、支援の利用控えに繋がっています。このままでは、家族の負担は軽減することがなく、障害児の成長にも弊害が生じます。

現行、看護師資格はヘルパー1級同等として認められ、ヘルパー業務に従事することができますが、医療的ケアの対応範囲は、喀痰吸引の資格があるヘルパーと同様となってしまいます。また、訪問看護事業は、医師の指示書があれば必要な医療的ケアを提供することができますが、外出支援を行うことができません。訪問看護事業所が、市指定の居宅介護事業所または移動支援事業所の認可を受けた場合、医師の指示に基づいた医療的ケアを行える外出支援制度の整備をお願いします。

しかし現在の移動支援の報酬単価では、訪問看護事業所として採算が合わないことが見込まれるため、医療的ケア報酬の加算も必要だと思います。高度な医療的ケアが必要な障害児の体調を考慮し、使用できる月の上限時間を設定する等予算の確保をお願いします。

これまで豊橋市は、短期入所の看護師配置加算や障害児看護支援事業など、医療的ケアが必要な障害児への制度を整備していただき深く感謝しています。今回も是非要望をかなえていただくようお願いいたします。

【回答】 障害福祉課

令和5年度から医療的ケア児者移動支援を開始することにより、障害のある医療的ケアが必要な方に対し、看護職員や喀痰吸引研修修了者が医療的ケアを伴う外出支援を実施することにより、社会参加の促進や移動時の保護者の負担軽減を図ります。

8. 指定福祉避難所の指定推進と受け入れ体制の構築について

・ 今般「災害対策基本法」が改正され、令3/5月に施行され、「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」が改定されました。

現在の福祉避難所は一次避難所に避難した人から福祉避難所に移る必要がある人を移していますが移動による負担が大きなネックとなっています。また最初から福祉避難所を開設すると住民が殺到し、混乱や運営への支障が生じる可能性が高いと思います。

今回の改定はそういった事を避けるために、市町村が障害児者や高齢者等受入対象者をあらかじめ決め、特定した本人とその家族のみが避難する施設である事を明らかにしておく指定福祉避難所制度が創設されました。指定福祉避難所は災害発生時に直接避難も可能としています。令和3年度の要望書回答で、問題点として支援確保体制の確立が課題であり、ワーキングを開催し検討を進め必要な整備を進めていく、となっていますがその後の状況はいかがでしょうか。

障害児者等は一次避難所で過ごすことができない場合が多く、指定福祉避難所に直接避難できれば障害児者等が少しでも過ごしやすくなり、避難所生活に対応することは可能と考えられます。

指定福祉避難所の指定推進と受け入れ体制の構築を是非お願いいたします。

【回答】 福祉政策課

ガイドラインを踏まえた福祉避難所のあり方ワーキングを今後も進め、豊橋市の福祉避難所のあり方を整理する予定ですが、非常に大きな体制変更となるため、考え方の整理や体制整備に多くの時間が必要であると考えています。

福祉避難所の直接避難については、社会福祉施設との協定による要配慮者の受入を含めて、検討しています。

9. 豊橋市民病院歩行困難者用駐車場の「屋根のひさし」設置をお願いします。

・ 障害者駐車場(車いす専用6台、歩行困難者用25台)の屋根は以前にも要望させていただきましたが、屋根の設置には支柱が必要で車いす専用駐車場は防災の地下水槽の問題、歩行困難者用は駐車台数減や視界が遮られ事故の危険が増すので難しいと回答をいただきました。

そこで改めて要望を含め検討をお願いしたいのですが、歩行困難者用には屋根のある歩道と隣接していますので、その屋根に視界が遮られない程度のひさしをつけていただく事は難しいでしょうか。そうすれば万全ではないですが車いす利用者等は雨等がある程度しのぐことができます。雨降

りの時は屋根のある玄関前の乗降場所は非常に混雑し殆ど利用できません。障害児者の多くの方が市民病院を利用しますが、少しでも車いす利用等歩行困難者の乗降がスムーズにいけばとても良いと思います。是非前向きなご検討よろしくようお願い申し上げます。

【回答】 管理課（市民病院）

既設の歩道屋根への「屋根のひさし」の取り付けは、強度の確保が難しく強風時に破損して落下する恐れがあり、他の来院者の方や車両への危険性が生じるため設置することが非常に困難な状況です。

歩行困難者用駐車場の一部の屋根の設置については、建設コストや安全性を考慮しながら検討していきたいと考えています。

また、雨天時の正面玄関での乗降については、適正利用を促していきたいと考えています。

10. 医療的ケア児の送迎、校外行事等の看護師の付き添いについて

・特別支援学校で医療的ケアが必要なこどもたちの送迎や遠足等校外行事に親が付き添っている状況ですが、R3/9月に医療的ケア児支援法が施行され、国の施策でも看護師の配置等見直し機運が高まって来ています。名古屋市はR4/4月より保護者が送迎できないときに看護師が同乗した介護タクシーを利用できる制度が始まりました。大阪府豊中市ではすでに実施しており、東京都では医療的ケア児専用通学車両運行等で対応しています。豊橋特別支援学校は県の管轄で、県としても最善策を考慮中とお聞きしていますが、親の送迎、付添いの負担はとても大きく、市としても善後策を講じていただきたいと思います。

【回答】 障害福祉課

令和3年9月に医療的ケア児支援法が施行され、保育所・学校の設置者は在席する医療的ケア児に対し、適切な支援を行う責務を有することとしています。

名古屋市は令和4年度から医療的ケア児の通学支援を開始し、医療的ケア児の保護者が病気などの理由により学校への送迎が不可能な場合に限り、学校に配置されている看護職員が福祉タクシーで自宅まで医療的ケア児を送迎する制度を始めていますが、名古屋市立の学校に在籍している児を対象としており、県立の学校には対応していない状況です。

医療的ケア児支援法にも、学校の「設置者」は在席する医療的ケア児に対し適切な支援を行う責務を有することとしていることから、豊橋特別支援学校の設置者である県が対応をするのが原則であると考えていますので、県に対して強く要望してまいります。

しかしながら、保護者が医療的ケア児の送迎が出来ないことを理由に、本来受けるべき教育の機会が制限されることはあるべき姿ではないため、他市の状況を把握したうえで、豊橋市としての対応を検討していきます。

11. 移動支援事業の利用対象者拡大および通学、通園に利用できるように制度の見直しをお願いします

・移動支援事業は大変良い制度で、知的や精神障害者の手帳所持者は移動支援アセスメントの結果次第で誰でも利用できる状況です。しかし身障手帳所持者は、現行、体幹1・2級、下肢1級以上しか利用できません。必要に応じて身障手帳所持者でも移動支援アセスメントを受けさせて頂き、

対象者の拡大をお願いいたします。県内では名古屋市、刈谷市、春日井市、小牧市等が身障手帳所持者を利用対象者としています。

身体の場合は介護保険対象者（制度がない）の利用が多く見込まれ、介護保険対象者は除くというような年齢条件等を設ければ対象者は限定されると思いますので早急に改善をお願いいたします。

また通園、通学等は通年かつ長期にわたる外出の為、原則対象外で大変不便を感じています。母親等介護者が病気等で付添いが出来ないだけで学校や保育園を休まなくていいように、豊橋市としても介護者の状況等によっては利用を認めて頂きたいと思っております。

【回答】 障害福祉課

移動支援事業の身体障害者の対象者要件の見直しにつきましては、他市における状況の調査等を実施したうえで検討します。

通園、通学等の利用については、原則利用できませんが、家族等の入院ややむを得ない事情による場合であれば、通年かつ長期にわたる外出であっても一時的に移動支援の利用が認められる場合がありますので、障害福祉課へご相談ください。

12. 豊橋プラネタリウム視聴覚教育センターにエレベーター設置のお願い

・プラネタリウムは満天の星を楽しめながら星座の勉強もでき子どもたちにとって大きな魅力の一つで、豊橋プラネタリウムも子供たちに好かれています。

しかし豊橋プラネタリウムは2Fにあり、視聴覚教育センターには階段昇降機は設置してありますがエレベーターがありません。車いす利用者は階段昇降機では時間がかかりとても不便を感じもう観るのをやめようという子供もいます。

障害があってもなくても車いすを利用していてもプラネタリウムを楽しみたいという思いは同じです。また重心の子どもたちにとってプラネタリウムは心身にとても良い影響を与えるということでその良さが見直されてきています。

近頃合理的配慮という言葉が盛んに使われます。障害児者が星空を楽しみ、天空を普通に勉強する機会を平等に得ることができるよう視聴覚教育センターにエレベーターの設置を是非お願いいたします。

【回答】 科学教育センター

プラネタリウムの車いす利用に関しては、ご指摘のとおり、現状は階段昇降機による対応となっており、昇り降りの時間を含めご不便をおかけしています。

エレベーターの設置については、多額の費用と施設の大きな改修が必要となり、バリアフリー推進の中で少しでも早く対応するため階段昇降機導入となった経緯があります。

今後とも、施設のあり方を検討していくなかで、ユニバーサルデザインを考慮しながら施設設備の改善を目指していきたいと考えています。

13. 豊橋市内の公園にユニバーサルデザインのブランコ設置のお願い

・豊橋市内には大小数多くの公園があり、殆どの公園にブランコが設置されています。しかし障害児者が乗れるブランコは殆ど無いと思っております。

ブランコは障害があってもなくても楽しく遊ぶ遊具の一つで、バランス感覚を養う効果も大きく、全身を使う事で筋肉に刺激を与え、自分の体をコントロールする事が出来ると言われております。

障害を持っていてもブランコは乗りたいという子どもたちが数多くいます。障害児者も多種多様でその子に合ったブランコを利用しケガや事故等が起きないように充分配慮することは当然ですが、安全確保には親等の万全な見守り、十分な注意対応が必要です。そういった点は機会ある毎に注意喚起していきたいと思ひます。

ユニバーサルデザインのブランコもいろいろありますが、座席シートに背もたれがあるタイプで、滑り止めがあるもの、ブランコの高さを調整できるものが希望です。あゆみ学園に設置されているブランコは外国製で高さの調整は出来ませんが、背もたれがあり座席シートも素材自体が滑りにくくずり落ちないようになってとても良いと思ひます。

【回答】 公園緑地課

豊橋市内には400を超える公園があり、その殆どにユニバーサルデザインの遊具が無い状況です。近年、多様性を認め合い共生する社会づくりが求められているなか、ブランコに限らず誰もが一緒に遊ぶことのできる遊具の整備を進めていくことは、必要だと認識しています。

遊具の導入にあたっては、設置だけでなく駐車場の確保や園路の整備などの環境整備を合わせて行う必要があることから、今後他都市の事例を参考にしながら、導入に向けて勉強していきたいと考えています。

2023.7.15



令和6年度要望書

豊橋市肢体不自由児(者)父母の会

1. 豊橋市内の公園等、特にのんほいパークや桜が丘公園、新アリーナにユニバーサル遊具設置のお願い

・豊橋市内には大小数多くの公園があり、殆どの公園にブランコ等の遊具が設置されています。しかし障害児者が安全に使用し楽しめるユニバーサル遊具は殆どありません。

こどもたちにとって楽しく遊ぶことで、社会性を身に付け、体や脳への刺激を受けることや体力向上の効果を得る機会は平等に与えるべきことであります。障害があってもなくてもみんなと一緒に遊べるインクルーシブ公園は、未来を担う子供たちに有益であると思ひます。

障害を持っていても公園の遊具に乗りたいという子どもたちが数多くいます。保護者等が介助しても利用できない遊具がほとんどです。(ブランコに親の膝に座らせて乗ろうにも不安定で危険、椅子型のブランコではサイズが限られる、滑り台から滑ろうにも、車いすのこどもを滑り台の一番上まで連れていけない、砂場で遊びたくても車いすでは入れず、車いすから降ろしても座位が獲得できない子はうまく遊べない。親が介助し腰を痛めた経験を持つ人もいる)

今年豊川公園にこども広場がオープンしました。障害の有無に関係なく、それぞれの個性に合わせた5種類のインクルーシブ遊具が設置されました。

豊橋市としても障害児者がよく利用するのんほいパークやさくらピアやあいトピアに隣接する桜ヶ岡公園、新施設が見込まれる新アリーナ等、車いすでも自家用車で気軽に行ける駐車場完備の施設にインクルーシブ公園としてユニバーサル遊具を設置して頂けるようお願いいたします。

2. 福祉避難所さくらピアの改善策検討のお願い

・福祉避難所としてさくらピアが大雨のたびに体育館が浸水してしまう。障害児者が一番頼りにし一番収容人数が見込める会場が機能しなくなるのは大変不安である。是非改善策をご検討願いたい。

3. あいトピア等福祉避難所体制の見直し、構築のお願い

・あいトピアが福祉避難所となっているが、6月の水害の際「防災ボランティアセンター」をあいトピアに開設され全館使用不可となった。

あの規模の災害で全館使用不可とされていたので、さらに大規模災害が発生し災害ボランティアセンターが立ち上がった際、福祉避難所として障害児者を避難させてもらえるのか？あるいは、一旦避難させてもらっても、センター開設とともに出されてしまうのでは？等、前述の福祉避難所さくらピアの件も含み不安が残るので是非福祉避難所としての体制の見直し、構築をお願いしたい。

4. 交通助成券や障害者タクシー料金助成券の増額のお願い

・交通助成金として障害者手帳所持者に現在交通助成券 5,000 円、自動車税の減免を受けていない人に障害者タクシー料金助成券 15,000 円が配布されていますが、岡崎市は今年度から自動車税の減免の有無に関係なく、身体障害者手帳 1・2 級者に対し 23,000 円、それ以外の手帳所持者に 17,000 円のタクシー助成券が支給されています。

近頃諸物価の値上がりが続いて家計はひっ迫してきています。

歩行可能な方はバス乗車での移動が可能です。家族の都合で自家用車が利用できない場合や移動支援等で介護タクシーを利用したくてもバス乗車が安易でない車いすユーザーは、タクシーチケットをすぐに使い果たしてしまいます。是非助成券の増額をお願いいたします。

5. 重心児者のマイナンバーカードの発行手続きについて

・マイナンバーカードの発行については現在いろいろな問題が発生しており、本人確認の厳格化が指摘されている所ですが、寝たきりで言葉も意思表示も移動等も難しい重心児者の場合は委任状の提出も難しいです。手帳等で障害内容等を確認の上、保護者の事由書等を徴求し、本人が直接窓口に出向かなくても受取り手続きをして頂きたいと思えます。

国が発行手続きを推進していますが、車いすの重心児者を窓口連れて行くのはものすごく大変でついつい後回しになってしまいます。豊川市は事情を確認の上、手続きして下さっているとお聞きしていますのでよろしくお願ひいたします。

6. 日常生活用具費「紙おむつ等」支給品の追加及び補助金増額のお願い

・現在おむつ等補助金の支給は年間 144 千円まで可能となっていて H30 年度に「おしりふき等」も追加して頂き有効に活用させていただいています。しかし障害者の中には生理周期も不安定で月の 3 分の 1 以上生理が続いたり、経血量が多くても重複障害者では自身で処理できない人が多く、尿取りパッドでは、ずれて汚れてしまうため大きいサイズの生理用ナプキンを使用しています。使用枚数・頻度も多いので是非紙おむつ等に生理用ナプキンも追加していただきたい。

また、昨今諸物価の上昇で紙おむつ等の価格も上昇し家計を圧迫しています。物価に合わせて補助金も月 1,000 円程度（上昇率約 8%）増額して頂きたくお願ひいたします。

7. 市民への「ヘルプマーク」周知徹底のお願い

・難病や内部障害等外見では分からなくても援助や配慮を必要としている方々が身に付け、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるヘルプマークを知らない方が散見される。まだ浸透が十分とは言えないので、是非広報等でPR活動に努め周知徹底をお願いしたい。

8. 導尿で訪問看護を利用している方の訪問回数増のお願い

・医療的ケア児支援法施行(R3/9月)により、就学中の児童生徒や通園児については看護師等も徐々に増えており医療的ケアの対応は向上してきているが、卒後の生活はまだ十分とは言えない。

二分脊椎症の場合、訪問看護は週に3回の導尿しか認められていない。それ以上利用は自費となる。通常1日5回の導尿が必要であり、通所施設で2、3回してもらってもあと2回は誰が…ということになります。現在は保護者や自費での訪問看護利用等により対応していますが、導尿回数を減らせば腎臓に負担となり命にかかわります。訪問看護利用増等安心して暮らせる施策をお願いいたします。

以上

豊障連行事

第22回豊障連大会

5.7.29 あいトピア

日差しが強く暑い日でしたが、第22回豊障連大会が7月29日にあいトピア多目的ホールでご来賓4名(市長、議長、福祉部長、課長)をお迎えし開催されました。参加者は6団体総勢約120名です。

最初に豊障連山下会長のあいさつがあり、引き続きご来賓から祝辞をいただきました。その後、前年度評議員会、活動、決算報告、さくらピア運営状況等の説明、及び今年度の役員、事業計画、予算の議案が承認されました。

第二部では先天性ろう者・廣川麻子氏のご講演「観劇サポートを楽しもう」です。

和光大学在学中にトット基金日本ろう者劇団入団。2009年イギリスに留学し、手話等について学ぶ。イギリスでは当時から字幕・手話・音声ガイド等が出来ていて日本では考えられない状況で、観劇についてもサポート体制があり大きな感激を受け帰国。

帰国後2012年に観劇支援団体TA-net設立。TA-netは現在「みんなで一緒に舞台を楽しもう」を合言葉に難聴の当事者が主体となって活動中。

またろう者に映画や演劇を楽しむためのサポートとして手話付のオンライン動画配信やライブ動画配信及びバリアフリー字幕等を駆使し目に見えない人間の気持ちや豊かな心を伝え楽しんでもらっている。さらに舞台や人形劇の手話通訳導入動画やサウンドバッグで音が見える可して体験してもらおうと共に豊橋芸術劇場PLAT等全国6か所で「舞台手話通訳養成講座」を開講し、舞台手話通訳の養成、実践、研究や講演、展示等ろう者の啓発活動を展開している、というお話がありました。

TN

福祉避難所

さくらピアの体育館浸水

6月2日(金)の記録的豪雨は東三河地方に大きな被害をもたらしました。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。平時は障害のある方を中心にスポーツ、趣味、レクリエーション活動の場としてのさくらピアですが、災害時は各避難所で過ごすことが難しい高齢者や障害者、妊婦さんらの避難所になる福祉避難所として利用されます。しかし、毎年のように大雨が降ると浸水。これでは福祉避難所としての機能を果たせません。父母の会も豊橋市に対して施設の改修、対策をお願いしていきます。

(p8 令和6年度要望書2. 参照)

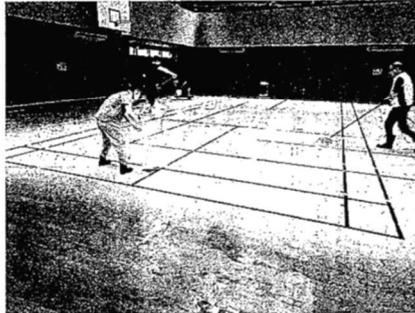
東愛知新聞

2023年(令和5年) 6月5日 曜日

発行所:東愛知新聞社 〒441-8016 豊橋市新栄町字鳥居62 電話0532(32)3111



2日午後から深夜にかけて東三河地方を襲った記録的な大雨。各地で河川の氾濫や浸水被害などが相次いだ。豊橋市東新町の市障害者福祉会館「さくらピア」では2日午後3時頃から浸水が始まり、施設内体育館が床上約3畳まで水に漬かった。3日朝から館のスタッフ、市職員らが3時間ほど水のかき出しに追われたという。施設の浸水が問題なのは、ここが「福祉避難所」に指定されているからだ。



体育館から水をかき出す職員ら—さくらピアで(提供)



水のかき出しが一段落した3日午後4時、今度は事務所兼ロッカー室の

床上浸水した福祉避難所

雨漏りも、体育館は受け入れ困難

豊橋「さくらピア」



3日夕方に落ちた天井(同)

2023年6月5日(月) 東愛知新聞

2023年6月13日(火) 中日新聞

発行所:中日新聞社 〒460-0895 名古屋市中区栄2-1-1 電話052(561)1111

2023年(令和5年)6月13日(火曜)

記録的豪雨に見舞われた豊橋市で、災害時に配慮が必要なお年寄りや障害のある人らが身を寄せる「福祉避難所」に指定されている市障害者福祉会館さくらピア(東新町)の体育館が床上浸水した。

想定浸水域ではないが、実は毎年のように浸水被害に遭ってきた。「万一の際に利用できないのでは」と不安の声が上がるが、市は複数の福祉避難所を被災状況に応じてやりくりする考えだ。(斎藤徹)

福祉避難所なのに浸水



現場は対策望むも…市「改修考えていない」

域でもない。ただ、かつて「日午後、17時に避難所は池や沼地だった」と。会館は豊橋障害者(児)団体連合協議会が指定管理している。市障害者福祉課は「地下に水が溜まる。対策を講じてほしい」と訴える。一方、市防災危機管理課の担当者は取材に「施設の改修などは考えていない」と現状を説明。今回の豪雨では、下水道や排水路が高齢者や障害者、妊婦らに配慮や介助が必要な人のためのバリアフリーな避難所。同市では、避難生活の長期化が予想される災害の際、利用希望があれば開設する。会館を含む十カ所を福祉避難所に指定している。今回の豪雨で会館には、福祉避難所も含む指定避難所の立地要件を「想定される災害による影響が比較的小さい場所にあるもの」と規定。内閣府の「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」によると、福祉避難所の要件は各自自治体が定めるが、水害に関しては「浸水履歴や浸水予測を踏まえ、浸水した場合でも一定期間、要配慮者の避難生活のための空間を確保できる」と例示している。

2日の記録的豪雨でも被害

はすぐに浸水すると説明する。市防災危機管理課によると、今回の豪雨で浸水した指定避難所は、1982年に完成したさくらピアは国道1号に面し、標高十五メートル前後に立地。近くに川や海もなく、浸水による想定浸水域ではないが、実は毎年のように浸水被害に遭ってきた。「万一の際に利用できないのでは」と不安の声が上がるが、市は複数の福祉避難所を被災状況に応じてやりくりする考えだ。(斎藤徹)

定期総会記念講演の感想をいただきました

「with コロナ時代の生活」 小山典久氏

2023.3.25 於:あいトピア多目的ホール

障がい者の保護者のみなさんにはお馴染みの小山先生の講演なので、是非お話を聞きたいと楽しみにしておりました。

『5月には5類に変わるが、コロナは付度してくれない。』季節性インフルエンザと同じに位置付けられますが、重症化リスクが少なくなるとか、流行が来なくなる訳ではないということです。

新型コロナウイルスとはそもそもどんなものなのか？感染力はいつが最も強いのか？ウィルスはいつまで生きているのか？気になるマスク着用が個人の判断となるなか、マスクの効果はあるのか？海外や医療機関等様々なデータを使って、分かりやすく説明してくれました。

豊橋市民病院の医師であり、感染症管理センター長である小山先生ならではの。知っていたこともありましたが、改めて確認出来たこと、新たに知ったこともあり、大変有意義でした。

また、抗体保有率が欧米では80%を超える国もあるが、日本は42%と低い。抗体保有率が高くなると感染流行の規模が小さくなるそうだが、日本が80%を超えるには後2年はかかると小山先生は推測しておられました。

新型コロナが普通の風邪になるかどうかは分かりませんが、コロナが5類になっても今まで通り手指消毒(手洗い)、マスク着用(特に感染者)の推奨は変わらず、コロナと一緒に生活することになるとのお話でした。そして、コロナの治療薬が使い易くなるようにと医師としての想いを小山先生は語られていました。

ちょうどこの時期にこの様なお話をしていただいた小山先生と、この企画にご尽力された皆様に感謝申し上げます。

土屋悦子



小山先生

愛肢連定期総会

(令和5年6月17日 於:刈谷市総合市民センター)

今年度の愛肢連定期総会は新型コロナの影響で規模を縮小し、表彰式等式典が開催されました。自立表彰・豊橋6名の下記の方々が受賞されました。おめでとうございます。

愛肢連会長表彰

・自立表彰(6名) (敬称略)

水野貴夫、小栗崇志、白川公一郎、
松井理恵、田中千景、市川真由佳

祝！！



愛肢連定期総会の感想

表彰して頂き、また立派な表彰状と額をいただき、ありがとうございました。表彰者ごとに表彰して頂いたのは、小学校の作文コンクール以来だったので、すごくうれしかったです。

来賓の方の「本宿にある岡崎特別支援学校は災害に遭わないために場所を移動する」という話がありました。あの大雨があったから、豊橋だけでなく、日本中あちこちで大雨の災害がおこる可能性があることが分かったのです。ぜひ市長や議長には私たち障害者に災害に対する措置やお金が必要であることを理解していただき、行動して頂きたいです。

また、「コロナは5類になっても基礎疾患をもっているひとには重症化の恐れあり」という話もありました。やはり怖い病が、しばらく私たちの生活を脅かすんだなと感じました。

私としては刈谷は遠く、額が少し重たかったので、オンラインか豊橋でやって頂きたかったです。ただ、もし二部が開催され、『心魂プロジェクト』のような方がいらっしゃれば、ぜひ見に行きたいです。

松井理恵



善意フェスティバル 2023

2023.5.28(日) 於:豊橋総合動植物公園

豊橋善意銀行主催「善意フェスティバル 2023」が、お天気に恵まれた5月28日(日)に豊橋総合動植物公園に於いて開催されました。会員76名が参加されました。

始めの会は例年通り野外コロシウムで行われ、豊橋長はじめ来賓の挨拶や車いす取り扱いの注意点等がありました。日差しが結構強く会員のほとんどは道路の木陰で日光を避けていました。その後、毎年当会を担当していただく藤ノ花や豊橋商業高校の生徒さんとペアを組み、さあ出発です。憩いの広場では大福、かき氷、ポップコーン等を頂いたりし、企業・団体のボランティアの皆さん方の協力で色々なゲームや体験をし、スポーツを楽しんだりに乗ったりと子供達は(大人も)大喜びでした。

昼頃にはあちらこちらの木陰で家族・高校生が輪になっておにぎり弁当を美味しそうに頂いていました。野外コロシウムではブラスバンドや踊り等のイベントが行われ動物園・植物園でそれぞれが楽しい時間を過ごしました。

終わりの会は野外コロシウムで行われ充実した一日を終了しました。今年も大変多くのボランティアの皆さん方にお世話になりありがとうございました。 T.N

感想文を頂きましたので紹介します

ヘルパーと参加した善意フェスティバル

5月28日に善意フェスティバルにヘルパーさんと参加しました。動物園の車椅子を借りて自分で車椅子を押しながら歩き高校生のボランティアさん3人と会話をしながら各ブースを回りました。

じゃんけんゲームをしたり工作をしたりしました。大福をもらって食べました。美味しかったです。暑かったけど1日楽しんできました。ありがとうございました。 松井俊裕



善意フェスティバルに参加して

5月28日に豊橋動物園の善意フェスティバルに参加しました。

1番楽しみにしていたのは、車椅子体験です。僕が車椅子なので少しでも気持ちをわかって欲しくて薦めました。ところが今回は、僕が車椅子を押す為の押し方の体験でした。高校生達は、車椅子には乗らなかったのが残念でした。次回は絶対乗る体験をしてほしいです!!

あと、今回のボランティアさんはスタンプラリーを全制覇してくれました。全制覇は初めてでした。

僕が車椅子を押して、象さんの方まで行くのは大変だったと思いますが、とても楽しかったです。有難うございました。 尾崎元哉



大人のお茶会

2023.7.15(土) あいトピア

※参加人数:25名(+子ども5名)

毎年7月に行っている、東三ブロック父母の会児童部と、あゆみ学園共催のイベントを、数年ぶりに対面で行うことができました。今年はフリーテーマでの「大人のお茶会」を開催しました。障害児の母は、なかなか一人で休日に出掛ける事は無いと思い、お母さんにゆっくりしてもらおうのが今回の目的です。

ゲストに豊橋特別支援学校の校長先生にお越しいただき、幅広い年齢の子供を持つお母さん方に参加をしていただきました。各テーブル終始笑い声が絶えず、とても明るく良い会になったと思います。

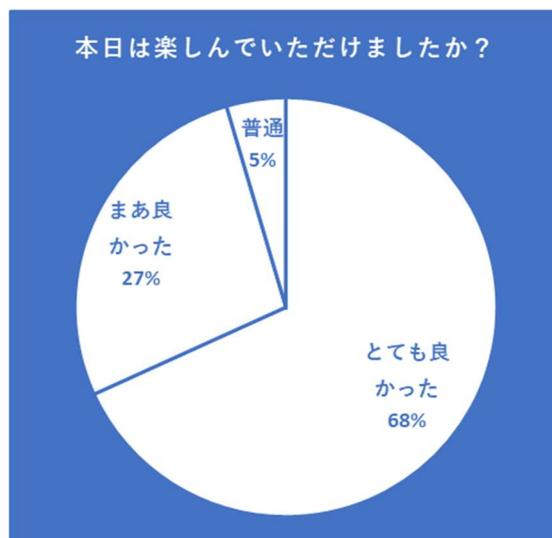
貸切で場所を提供していただき、お世話になったあいトピアの喫茶路面電車のスタッフさんに、この場を借りてお礼申し上げます。

以下、アンケート結果の一部を掲載させていただきます。

.....

感想

- ・とても有意義な時間を過ごせました。
- ・何度かこういう機会があれば顔見知りになっていけると思うので、今後もやってほしい。
- ・お茶会は気軽に情報交換できてとてもよいと思います。自分自身も勉強になることがたくさんありました。ありがとうございました。
- ・支援学校のお母さんや先生とお話ができてとても良かったです。子どもの年齢が上のお母さんとフリートークできる場がもっとほしいです。



R5.7.15 お話会の感想

このような会を開催していただき、ありがとうございました。
私と同じようなハンデを持つ方とお話できて、共感していただき、よかったです。また、豊橋特別支援学校の校長先生や、あゆみ学園の保育士さんもゲストでいらっしゃいました。そのような学校・施設で働く方々とお話してみたかったので、貴重な経験ができました。療育や教育の仕事は大変だけれども、それを生きがいにしている人がいるということが分かりました。私も自分の仕事をがんばらないと、と思いました。

松井 理恵



令和5年度第1回あゆみ学園 Q&A 報告書

令和5年5月25日
場所 豊橋あゆみ学園

今年度初回の Q&A は幼児期・あゆみ学園でがんばったこととして、父母の会から中神会長と3名の児童部スタッフが参加しお話しさせていただきました。

スタッフの子どもは高校生ですが、共通する思いや参考にできることもたくさんあり、お互いにいい刺激になったように感じます。

終了後には短い時間でしたが、保育園入園の話など具体的な質問にも答えることができ、直接顔を合わせて交流する Q&A の良さを再認識しました。

参加者:

中神会長、
児童部スタッフ3名(現在豊橋特支高等部・地域の高校)
あゆみ学園保護者14名、鈴木園長、
田中先生

① 中神会長より

年3回 Q&A を開催している。少しでも若いお母さんたちの役に立てればという思いと、生の声を聞いて意見をいただき、障害児者の環境の改善につなげていきたいと思っている。

② 自己紹介と幼児期・あゆみ学園でがんばったこと

豊橋特別支援学校高等部3年の母 A

あゆみ学園には2才から5才まで通った。豊橋特別支援学級に入学し現在に至る。

障がいのある親とのつながりがないままあゆみ学園に入園した。あゆみ学園の先生に教えてもらうことがすべてと言ってもいいくらいだった。

子どもへの関わり方も教えてもらったが、親同士のつながりや友だちができたことが本当に楽しかったしうれしかった。

あゆみに行きたくないと思った時期はなかった。気持ちが落ち込んだ時はあゆみに来てみんなと話すようにしていた。

豊橋特別支援学校高等部3年の母 B

年少から年長まであゆみ学園に通い、豊橋特別支援学校に入学、現在に至る。

現在は田原市からスクールバスで豊橋特別支援学校に通学している。

あゆみ学園に毎日通うことで、規則正しい生活を送ることができた。

いろいろな遊びの中で、我が子の好きなこと、苦手なことが分かり、周りに説明できるようになった。あゆみ学園はその準備期間だと思う。

一人ができることみんなで喜ぶという温かい雰囲気、通園することが楽しかった。

地域の高校1年の母

地域の保育園、小中学校を経て、現在高校1年生。

保育園入園当初は子どもだけでなく親も不安な毎日だった。安心して預けられたり仕事をするためにも、子どものことをよく知り自信が持てるような母子通園の時間があってもよかったと感じている。

地域では肢体不自由児は我が子だけで、友だちは健常の子だった。友だちは、いっしょに生活する中で自然に手を貸してくれた。

親が障がいのことなどを相談できる場所を見つけておくといいと思う。

今回は質疑応答の時間はなく、幼児期の思い出やがんばったことを紹介する内容でした。今後、聞きたいことや知りたいことも出てくると思います。私たちの経験が少しでも役に立てばうれしいです。



令和5年度第2回あゆみ学園 Q&A 報告書

令和5年7月13日

場所 豊橋あゆみ学園

今年度の2度目のQ&Aは「生活習慣について」をテーマに父母の会から5名の児童部スタッフが参加しお話しさせていただきました。

成長しても共感できる気持ちもあったり、経験談をアドバイスさせてもらうなど良い時間になったかと思っています。

参加者:

児童部スタッフ5名(現在豊橋特支高等部、小学部・地域の高校・地域の中学校)

あゆみ学園保護者約20名、田中先生

①排泄について

Q.便秘の時の対策はありますか？

A1. 低緊張で、体が柔らかい。今思えば腹圧が無いから出せなかった。3歳くらいまで、酸化マグネシウムを服用していた。1歳くらいから座位がとれ保育園へ。同時に家庭でもトイレに補助便座を置き、環境を整えた。続ける事と体幹が安定してきた事で、自力で排泄出来る様になった。酸化マグネシウムの服用も無くなった。自力で出るまでは、浣腸や綿棒も使っていた。家での環境作りは大切です。

A2. 現在も、テレミンソフト坐薬の使用や、酸化マグネシウムを服用している。胃瘻からの栄養摂取だが、ミキサー食を注入すると固形の形のいい便が出る事が多い。たまに、自力での排泄もあり。

②食事について

Q.水分を摂らない、食べる量などにむらがあるときはありますか？

A1. 小さい頃はケーキとか甘い物も食べていた。成長するにつれて、食に対する拘りが強くなった。食べる場所、時間、食品のパッケージにも拘りがあり、自分のルーティン意外はNGになった。感覚過敏から舌の過敏も有り様々な条件が整わないとあまり食べません。今は反抗期からか、『自分が要らない』となったら、水分もなかなか摂れない事もある。

A2. 料理教室に通わせた。食材や作る工程を見る事で少し理解出来る様になり食べられるようになった。

③睡眠について

Q. ネットレ(一人で寝ること)体験談を聞かせて下さい

A1. 今でも横に人が居ないとなかなか寝ません。

A2. 部屋を暗くして、一人にさせてみた。最初はテンションも高く声を出して遊んでいたが、次第に慣れて一人で眠るようになった。

④清潔について

Q. 入浴はどうしていますか？

A. 小4から月5回、主人の帰宅が遅い日はヘルパーに入れてもらっていた。利用をやめていたが最近利用を再開した。理由は、今は必要無いが、いざ始めようとした時に、お互い(子供もヘルパーも)成長した今の状態での介助に慣れていないと困るので。

Q. 歯磨きを嫌がります。何か良い方法はありますか？

A. 口唇口蓋裂も有り小さい頃から歯医者に通っていた。嫌がる子は何が嫌なのかを見てあげるといい。口の周りや中を触られるのが嫌とか、口の中に何か入ってくるのが嫌とか理由がある。歯磨きに拘らず、膝にのせて、顔を触ったりして(頬、下顎とか)コミュニケーションをとる事から始めてもいい。その子の好きな歌を歌いながら歌に合わせて顔を触るとか。

無理矢理になると嫌になってしまうので、焦らず始めは遊び感覚でもいいと思う。

たくさんの質問をいただき、今の幼児期のお母さん方がどんなことで悩んでいるか勉強になりました。次回は11月を予定しております



青い鳥郵便はがき寄付のお礼

前号で紹介しました「青い鳥郵便はがき」の寄付、ありがとうございました。

寄贈者は芝原良平さん、金田雄也さん、島田侑歩さん、松井俊裕さん、小林剛輝さん、奥平涼太さん、大平智也さん、村松泰さん、藤原流輝音さん、中林咲貴さん、尾崎元哉さん、彦坂旺太さん、辻佳真さん、生田政子さん、伊藤飛翔さん、前川実希さん、眞木祐輔さん、宮田真奈さん、宮田七星さん、井土瑠美さん、多くの方々から寄贈がありました。ありがとうございます。





友だち紹介



川合理夢
(かわい りむ)

【通所施設】
あゆみ学園・ゆり組

【好きな事・今後の夢】

布ブランコ、絵本、散歩。食べ物は肉・魚が好き。夢はひとりで歩行器で歩くことです。

【趣味・得意な事】

歌・音楽を聴くこと。手を使って物をゆっくり触ることが得意です。

【がんばっていること】

ママと離れても泣かないこと・一人で待つこと。



三竹紅芭
(みたけ くれは)

【学校名・学年】
豊橋特別支援学校
小学2年

【好きな事】

床でゴロゴロしながら
ゆっくりする事

【得意な事】大きな声で叫ぶ事♪—(≧▽≦)O—♪

【自己PR】

家から学校までとても遠くお母さんと1時間かけて通学しています。学校ではお友達から「はーちゃん」と呼ばれて楽しく授業を受けています！たまに「キャー！！」と叫びますが気分がいいだけなのでびっくりしないでくださいね！



河合光輔
(かわい こうすけ)

【通所施設・年齢】
あゆみ学園・4才

【好きな事】

お父さん大好き！！アンパンマンのテレビを見ること・バギーで散歩・キューブリズム

【得意な事】

最近ハイハイが出来るようになりました。すぐ昼寝をすること

【自己PR】

リハビリでつたい歩きの練習をしています。赤ちゃんの頃は食べるのが苦手ですぐ吐いちゃったけど、今はもりもりたくさん食べることができます。お父さんの作るフライや唐揚げが大好きでむしゃむしゃ食べます。たくさん食べてたくさん動いて大きくなりたいです！



小栗崇志
(おぐり たかし)

【勤務先】

くら寿司

【好きな事】

名古屋市科学館のプラネタリウムに行ったり栄をぶらぶらする。

将来は東京までコンサートを聴きに行ったり、ミュージカル「アニー」を観に行きたい。

【趣味・得意な事】

クラシックや合唱団のコンサートを聴きに行くこと。YouTube を見ること。

【がんばっていること・自己PR】

僕は30年間ぐらい自分の障害と付き合っているけど必ず良いことが待っているので絶対、あきらめないようにしています。

<今後の主な行事予定>

- 9月24日(日) 野外療育訓練会・豊橋総合動植物園**
9月30日(土) さくらピア避難所体験「食育防災を考えよう!」・さくらピア
10月 8日(日) ホースセラピー体験会・ピッコロファーム(田原市父母の会主催)
10月15日(日) 東三ブロック療育訓練会(心魂プロジェクトの生パフォーマンス)・あイトピア
10月22日(日) 豊障連体育祭・さくらピア
10月28日(土) 愛肢連わいわいカーニバル・岡崎市中心総合公園
11月11日(土) ボランティアのつどい・さくらピア
11月14日(火)～19日(日) 豊障連さくらピア文化祭・さくらピア
11月30日(木) ○父母の会Q&A委員会・あゆみ学園
12月 2日(土) ○県心身協福祉大会・愛知県社会福祉会館
12月24日(日) クリスマス会・あイトピア



○印の参加募集はありません

※予定は順次ご案内いたします。急な変更・中止となる場合がございます。ご了承のほどお願い致します。

<あとがき>

・今回の表紙は宮田真奈さんの作品です。素敵な作品をありがとうございます。

・「父母の会ふれあい短期介護支援」「父母の会入院付添い支援」を活用しましょう。短期介護支援や入院付添い支援は緊急時や入院時に見てもらう人がいないとき、同居以外の親族等にみてもらい、その介護支援費用(1日4時間以上・5,300円)のうち4,500円を父母の会で負担するものです。使ってみてほしいと思われた時、分からない事があった時には遠慮せずにご相談ください。会員の皆さまのご意見、ご要望を受けてより利用しやすい事業にしていきたいと思っています。

・父母の会相談員は中神達二、鈴木智江子、後藤久代、星川広江、磯田周平、尾崎博美、奥平久美子です。悩み事・心配な事、何でも気軽に相談してください。

・原稿や感想文を寄せていただいた方には、クオカードをプレゼントしています。積極的に投稿をお願いします。

・新会員も大募集中です。隣近所でまだ父母の会に入会されていない方がありましたら是非ご紹介ください。手帳をお持ちであれば障害の種別は問いません。

・年会費は¥2,000です。年会費は振込みも出来ます。年会費がまだ納めてない方は下記の振込先に振り込みをお願いします。(できるだけ同封しています振込用紙をご使用ください)

ゆうちょ銀行 口座番号 00840-1-135126 加入者名 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会
ゆうちょ以外の銀行等からの振込の場合 ゆうちょ銀行:店番 089 口座番号 0135126 口座名:同上

<お願い>

・いろいろな行事について出席のご返事のあと変更になった場合は 中神 まで電話または FAX かメールにてご連絡お願いいたします。

TEL : 0532-23-3217

FAX : 0532-23-4830

E-mail : rsa34375@nifty.com